

一次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から現時点での掲載を控えております。

著作権者への配慮から
現時点での掲載を控えて
おります。

(吉川民「表現について」による)

(注) 括弧内はすっぱり取り除くこと。

1 本文中の①には「人間のさまざまな感情」という意味の四字熟語が入る。次のことばが①に入れるのに適した四字熟語になるように、に入る漢字一字を書きなさい。

怒哀楽

2 経験することとあるが、本文中で筆者が、表現することにおいて、経験することが必要だと述べる理由を次にまとめた。aに入る内容を、本文中のことばを使って二十五字以上、三十五字以内で書きなさい。また、bに入れるのに最も適しているひとつづきのことばを、本文中から六字で抜き出しなさい。

経験上知ったことは真実になり、a ことで先入観が払拭され、さまざまな体験が作品と一体となって画面から感じられ、b になってくるから。

作者の慮から現時点で掲載をえおます。
著作権へ配慮から現時点での掲載を控えております。

1 ①いたづらに費へてを現代かなづかいになおして、すべてひらがなで書きなさい。

2 本文において、「書物を読み通すこと」はどのようなことにたとえられているか。最も適しているひとつづきのことばを、本文中から六字で抜き出しなさい。

3 次のうち、京へ上ろうとする人について、本文中で述べられていることがらと内容の合うものはどれか。最も適しているものをもつて選び、記号を○で囲みなさい。

ア 京へ上ろうとする人は、ありとあらゆる道をよく尋ねて、海山の様子も覚えてから里の辺りを通るべきである。

イ 京へ上ろうとする人は、自分の里へ帰るために、通ったところのようなものがあるかを探すべしである。

ウ 京へ上ろうとする人は、だいたいを見渡して、どの辺りに松があり、河があるかを見当を付けて通るべきである。

エ 京へ上ろうとする人は、京へたどり着くために、通る道をあらかじめ覚えて道に迷わないようにするべきである。

4 ②引きとほしてみれば、物に合ふ時思ひ合はすること多しとあるが、本文中で筆者がこのように述べる理由を次にまとめた。に入る内容を本文中から読み取って、現代のことばで十五字以上、二十五字以内で書きなさい。

書物をするすると最初から最後まで読み通すことで、ことができるから。

著作権者への配慮から
現時点での掲載を控えて
おります。

二次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

3 次のうち、本文中の③に入れるのに最も適していることばはどれか。一つを選び、記号を○で囲みなさい。

ア しかし イ すると ウ ところで エ なぜなら

4 ④描く側は子供のように遊び表現してみるとあるが、本文中で筆者が、子供のように遊び表現してみることが必要だと考える理由を次のようにまとめた。aに入れるのに最も適しているひとつづきのことばを、本文中から五字で抜き出しなさい。また、bに入れるのに最も適しているひとつづきのことばを、本文中から九字で抜き出し、初めの五字を書きなさい。

子供たちが遊ぶときのような、理性だけではコントロール仕切れない感情や身体の働きがaであり、子供のように遊び表現してみること、bから。

三 次の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(4)の文中の傍線を付けた漢字の読み方を書きなさい。また(5)～(8)の文中の傍線を付けたカタカナを漢字になおし、解答欄の枠内に書きなさい。ただし、漢字は楷書で、大きくていねいに書くこと。

- (1) 社会の風潮。
- (2) 力を誇不する。
- (3) 魚を商う店。
- (4) 二つの役を兼ねる。
- (5) 荷物をトドける。
- (6) ケワしい山を登る。
- (7) メンミツな計画。
- (8) 議論のヨチはない。

2 「書を学ぶは急流に浜るが如し。」の読み方になるように、次の文に返り点を付けなさい。

学書如派急流。

3 次のア～エの行書で書かれた漢字のうち、楷書で書いたときと筆順が変化しているものとして最も適しているものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 秋 イ 草 ウ 机 エ 雪

四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権の配慮から現時点での掲載を控えています。

著作権者への配慮から現時点での掲載を控えています。

著作権者への配慮から現時点での掲載を控えています。

〔山谷嘉善「人類学的観察のすすめ」による〕

〔注〕 恣意的 論理的な必然性がないさまのこと。

クロスオーバー 二つ以上のもが交わること。

オーバーラップ 二つ以上は、重なりあうこと。

前景化 二つ以上は、あるものが他のものより強調されていること。

1 次のうち、本文中の①に入れるのに最も適していることはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 必然的
- イ 偶然的
- ウ 恣意的
- エ 流動的

2 自然には存在しない新しいモノを作る とあるが、本文によると、人間がこのようなことができるようになったのは、自然物がどのようなものになったからか。その内容についてまとめた次の文の□に入れるのに最も適しているひとつづきのことばを、本文中から十六字で抜き出し、初めの五字を書きなさい。

自然物が人間にとって □ になったから。

3 次のうち、本文中で述べられていることがらと内容の合うものはどれか。最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 美術史家N・マクレガーは、フランス南部のモンタストリユックの洞窟で二つの「彫刻」を発見し、これらの「彫刻」を手掛かりに芸術の誕生について論じ、芸術作品に隠された意図を明らかにした。

イ 人間は、自然環境とそれを構成する自然物に取り囲まれながら生活を営んでいたが、それらを利用しなくなったことで、自然物と人間の関係が変化した、何でも作ることができるようになった。

ウ 人間の頭脳の中で、複数の領域のあいだのクロスオーバーができるようになり、無関係だったものが関係づけられるようになったことで、自然に埋め込まれていた規則が前景化するようになった。

エ 言語においては、意味の違いを生む最小単位である一定数の「音素」が、人間が発声可能な音の中から恣意的に選り出されており、どのような「音素」が選り出されているかは言語ごとに異なる。

4 ③言語の発生と同形の現象ではないかと思える、とあるが、本文中で筆者は二つの「彫刻」のどのような点が言語の発生と同形の現象と思えるか述べているか。その内容についてまとめた次の文の□に入る内容を、本文中のことばを使って四十五字以上、五十五字以内で書きなさい。

素材と題材を □ という感

受験
番号

番

得点

二				3	2	1
4				ア		
			読み通すことで、			
	15		書物をするすると最初から最後まで			
25			ことが出来るから。			
				イ		
				ウ		
				エ		

10 4 2 2 2 採点

一				3	2	1	
4		3		2		1	
b	a	b	a				
		ア	払拭され、	25			
		イ		35			
		ウ		ことで先入観が			
		エ					

12 2 2 1 2 4 1 採点

四				3	2	1
4				ア		ア
			素材と題材を			
			イ			
45			ウ			
55			エ			
				イ		
				ウ		
				エ		

13 6 3 2 2 採点

三				1					
3	2	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
ア	学 ^ア 書 ^ツ 如 ^シ 派 ^{ルガ} 急 ^{キウ} 流 ^{リウ} 。					兼	商	誇	風
イ		ヨ	メン	ケツ	トク				
ウ		チ	ミツ	しい	ける	ねる	う	示	潮
エ									

10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 採点